

JAM熟練技能継承事業ニュース

発行：2014年10月29日
JAM熟練技能継承推進室

安全は技能指導の基本

～ 岐阜県の若手教員に実習指導法を研修～

10月28日、岐阜県立国際たくみアカデミー（ものづくりに関する実践的な技能・技術や専門知識が学べる教育訓練機関の施設）において、岐阜県下の工業系高等学校の若手教員を集めて、技能実習の指導法の研修会を行なった。



＜国際たくみアカデミーの外観＞

この研修会は岐阜県教育委員会学校支援課とタイアップして行ったもので、県内の工業高校の教員8名が、高度熟練技能者（ものづくりマイスター）北川勉氏の指導を受けた。

研修のねらいは、「金属切削加工について理解し、実際に加工する活動を通して安全に配慮した実践的な実習指導法を学び、今後の生徒の指導に活かす」というもので、機械加工の指導経験が浅い機械系の教員をはじめ、建築系・電気電子系が担当教科の教員まで参加した。

開講式にて上記アカデミーの清水校長から挨拶を受けた後、講師の北川氏から安全作業

や機械操作の基本について「何をおいても安全の確保」を強調した講義が行われた。



＜安全作業について厳しく指導する北川氏＞

講義の後、実際の金属加工の基本について、普通旋盤の回転数や送り速度、刃物の芯合せ、切削の切り込み量などについて、まず講師の北川氏が旋盤操作の基本や作業姿勢、工具の取り扱いなどについて手本の実演を行った。これに続き、受講者が二名一組でそれぞれ旋盤について実習を行ったが、取り扱いに慣れた教員も不慣れた教員もいる中で、指導する北川氏がそれぞれのレベルに応じた指導をしているのが見て取れ、受講者全員の技能レベル向上を実感する研修会であった。



＜研修会に参加した教員は全員真剣に受講＞